

		大会テーマ	基調講演等		公開シンポ
1	東京	2005			軽度発達障害児への発達と支援の課題
2	関西	2006			教育と福祉の地域ネットワークの構築に向けて
3	東京	2007	特別支援教育推進事業における専門家の活用	臨床発達心理士の将来展望	生きにくさをかかえる人へのための支援を考える
4	東北	2008	社会・文化の中に位置づけられる臨床発達心理士の専門性		高機能自閉症クラスへの支援など発達に困難のある子どもへの支援
5	東海	2009	臨床発達心理士としての社会的貢献	発達し続ける臨床発達心理士を目指して 「他でない私たち」：定型発達⇔障害のスペクトラムの理解から	発達障害の現場から
6	関西	2010	領域を架橋する 臨床発達心理士の役割	脳の機能発達とその可塑性	領域を架橋する 臨床発達心理士の役割
7	神奈川(横浜国大と共催)	2011	発達障害支援の最前線 インクルーシブな社会の実現をめざして	震災を巡って・心理師(仮称)国家資格への私たちの立場	発達障害支援の最前線
8	東京	2012	「主体」を支え・つなぐ インクルーシブ社会の実現に向けて 10年目の挑戦	「主体」としての権利と支援の行方	【幹事長報告】「主体」の権利実現に向けた臨床発達心理士の役割 「主体」とは誰か
9	千葉	2013	未来につながる・世代をつなげる・地域でつながる生涯発達 臨床発達心理学の可能性	「幹事長報告」心理職の国家資格化の動向と臨床発達心理士の専門性 未来・世代・地域・専門職をつなぐ臨床発達心理士	ライフステージをとらえた社会性の生涯発達支援 発達障害児者の「人とのつながり」と「自己理解」を支える<生活>の観点から 子ども家庭福祉の動向と臨床発達心理士への期待
10	北海道	2014	生涯発達を支える臨床発達心理士の役割 人に添う発達支援	「幹事長報告」臨床発達心理士に求められる専門性をいかに担保するか	「人に添う発達支援とは」人に添う発達支援から見た浦河の取り組み
11	中国・四国	2015	地域で活かす持続可能な支援 とどける、つなげる、つづける	「幹事長報告」職能資格としての臨床発達心理士を考える 国資格「公認心理師」法案通過後の課題	「倫理相談委員会報告」心理の国家資格化と倫理的観点 エピソード記述を通した子ども理解のあり方 子どもの育ちを支える大人のこれからの課題
12	大阪和歌山	2016	関係性を築き、支える、臨床発達支援の可能性	「幹事長基調講演」Science basedな実践を目指して 臨床発達心理士に求められるコーディネート能力	困難を抱えた青少年の過形成を築き、支える：土井ホームの実践から
13	茨城	2017	改めて見直す心理教育アセスメント 主体的な発達と共生の支援につながるように	改めて見直す心理アセスメント 人の理解と支援のための発達アセスメントとは何か	「幹事長基調講演」Exposure-Outcomeを超えて“つなぐ” 改めて見直すWISC-IVのアセスメント
14	東海	2018	臨床発達の現場から立ち上がる研究 実践を研究に結びつけるには	自閉スペクトラム症における情動の障害と発達	幹事長講演「臨床発達心理士に期待される臨床に基づく研究」 なまの事例と生きたナラティブ 実践と研究を往還しよう
15	九州沖縄	2019	臨床発達心理士の“維新”生涯発達支援のアクター、アレンジャー、クリエイター	幹事長講演「心理士の維新の時代をどう生き抜くか 臨床発達心理士と公認心理師」	24時間 心に寄り添う 赤ちゃんポストから社会を見る
16	東北 コロナ緊急事態宣言等により中止	2020	臨床発達の支援の新たな展開	発達アセスメントと支援のあり方	発達障害とは誰のことがトウレット症候群と選択性緘黙-
17	京都	2021	地域に根ざした臨床発達の支援	「幹事長講演」京都で考える地域に根付いた支援	新版K式発達検査2020 成り立ち・役割・これからの課題
18	東京	2022	コロナ禍に発達と支援を問う		八王子市保育巡回相談における発達支援の専門性を問う 保育者の視点からの検討
19	兵庫	2023	「多様な社会の中での臨床発達心理士の役割：誰一人取り残さない支援を考える」		学校における「誰一人取り残さない支援」を考える
20	長野	2024	生涯発達を紡ぐ～その視点を問い直す～		「不登校」における生涯発達 関わる全ての人たちの一

・公開講演	実践研究プロジェクト企画	準備委員会企画	テーマ別交流会	委員会企画	WG企画
	少子・高齢化社会における育児支援の課題	思春期の社会適応支援	乳幼児期の支援(乳幼児検診、健全育成支援、気になる子への支援、障害児保育支援)、	学童期の支援(養護学校センター機能、小中学校での特別支援コーディネーター、中学高校での特別支援、学校での巡回相談)	思春期以降の支援1(思春期の適応障害、性同一性障害、思春期の軽度発達障害)
	子育て現場において臨床発達心理士は何か出来るのか	特別支援教育の現場で何が起きているのか	豊かな青年期を過ごすために	乳幼児期の支援1	乳幼児期の支援2
	保育支援の現状と今後のあり方	発達の観点を持った特別支援教育コーディネーターはこう働く	軽度発達障害者の高等教育に置ける支援と展望	乳幼児A(医療・保健・福祉(乳幼児検診等))	乳幼児B(保育・育児(気になる子、障害児保育等))
	発達障害児の生涯発達支援のキーワード	発達障害を持つ青年の就労支援・キャリアカウンセリング	家族を中心とした小児医療に学ぶ	虐待の新しい視座を目指して	乳幼児A(医療・保健・福祉(乳幼児検診等))
	臨床発達心理士の「倫理の基本」	思春期・成人期の発達障害者への就労支援	災害・社会的トラブルに対する臨床発達心理士の役割	こうすれば書ける実践研究	乳幼児A(医療・保健・福祉(乳幼児検診等))
	青年期・成人期の発達障害者の非行・犯罪臨床の現状と予防的・回復的支援	発達障害児者をめぐる様々なトラブルに関する最新情報	支援を豊かにする倫理的観点	こうすれば書ける実践研究 実践をどう共有するか	発達障害臨床から見た青年期・成人期の精神医学 事例報告交流会：支援プログラム
	21世紀における就学前の育児・保育・教育をつなぐシステム	2次障害脱出のための医療と臨床発達心理の連携シナリオ	被災地での支援、被災地への支援	支援を豊かにする倫理的観点	第1回臨床発達支援の動向及び意識調査
	自我の芽生えを育むアセスメントと支援	生きにくさを抱えた生徒の社会的自立に向けた支援	支援を豊かにする倫理的観点	就労が思うように進まない発達障害者への臨床発達心理士の支援	臨床発達心理士会の各支部の活動の現状
	未来につながる・世代をつなげる・地域でつながる生涯発達-1 千葉県富里市の地域支援システム	未来につながる・世代をつなげる・地域でつながる生涯発達-2 全国の地域支援システムから	21世紀における就学前の育児・保育・教育をつなぐシステムIII	臨床発達心理士会の各支部の活動の現状2	支援を豊かにする倫理的視点IV
	生涯発達を見通す発達支援を目指して	自閉症スペクトラムを中心とした特性へのアセスメントと支援の実際	乳幼児期の育児に添う支援	21世紀における就学前の育児・保育・教育をつなぐシステムIV	記録と情報の扱い方
	地域で活かす持続可能な支援とどける、つなげる、つづける 中国・四国地域での取り組み	地域で活かす持続可能な支援とどける、つなげる、つづける 認知行動療法からの提案	心理職の国資格化と職能資格	子ども子育て支援新制度と現代社会の課題	実践研究論文の書き方ワークショップ
	周産期からの母子関係形成の支援	子どもの思い、保護者の願い、教育の力	やさしいエビジェネティック入門	ロボット研究・人工知能研究から自閉症とコミュニケーションを考える	自閉症支援に有効なペアレントプログラムの紹介と検討
	就学につながる幼児のアセスメント	応用行動分析の活用	自閉症の新しいアセスメント、発達障害支援におけるアセスメントの最前線	災害を受け入れた新たな町づくり	自閉症の発達論的アプローチその1「ペアレントプログラム」のテキストの紹介と方針
	実践・臨床活動から立ち上がる研究	思いやりの発達心理	CHC理論と知能検査・認知検査	ふれあいペアレントプログラムの効果検証と社会的実装	東京都の特別支援教室巡回相談心理士における責務と組織的研修プログラム開発の重要性について
	生涯発達支援のアクター、アレンジャー、クリエイターについて考える	発達臨床の新たな夜明け～神経多様性の包摂に向けて	ソーシャルエモーショナルラーニング(SEL)からの支援～社会性と感情を育てる	展望・高齢者に対する支援	自閉症支援プログラムの社会的実装のために何をすればよいか
	運動の不器用さに対する臨床発達心理的支援	乳幼児健診の新たな方向性	ワーキングメモリと発達障害-アセスメントと支援-	超低出生体重児の発達-発達神経症?を考える-	
	心理学理論の実践への活用	SCERTSモデルを適用した包括的な自閉症支援	京都市の児童館における発達支援の取り組み	事例検討会を意義あるものにするために	論文の書き方セミナー
	コロナ禍における家族支援の現状と課題：子ども・養育者の影響、発達障害の観点から	超早期の発達支援のエビデンスを問う	ICTによる発達支援の実践例から学ぶ効果と展望	生態学的アセスメントを行なう-SCERTSモデルの枠組みに沿って	オンラインによる研修会の可能性と課題
	震災から子どもの支援について学ぶこと	不登校の陰に潜む子どもの睡眠障害とICT依存	女性である事と発達障害	きょうだい支援を考える	子ども・青年の発達の危機や社会的トラブル危機を巡る支援と臨床発達心理士への期待
「見逃されがちな障害の現在と未来」	「全国大会 20 周年の歴史を振り返り、臨床発達心理士の値打ちを考える」	「臨床発達支援における関係性の視点を問う」	「専門職の発達支援におけるスーパービジョン」	「知的・発達障害の子どものウェルビーイング」	赤ちゃんを亡くした養育者への心理支援
	知的障害のある人への心理支援とアセスメント	親子ふれあい遊びワークショップ	DN-CAS 認知評価システム	Bayley III乳幼児発達検査	発達障がい児の体づくりに使える「遊び」の理論と実技

企画シンポ等	士会企画	実践セミナーA	実践セミナーB	職能向上セミナー	支部企画
思春期以降の支援2(青年期の犯罪被害者・加害者への危機対応、成人・高齢者の適応支援)					
修学期の支援1	修学期の支援2	就労期以降の支援			
学童期C(特別支援教育)	学童期D(その他の学校問題(虐待、いじめ、親支援、地域連携、機関連携等))	思春期・青年期E(就労を含めた社会的自立)、	思春期・青年期F(不適応への対応)	成人G(加齢の問題)	
乳幼児B(保育・育児(気になる子、障害児保育等))	学童期C(特別支援教育)	学童期D(その他の学校問題(虐待、いじめ、親支援、地域連携、機関連携等))	思春期・青年期E(不適応への対応、就労を含めた社会的自立)、	成人F(加齢の問題)	
乳幼児B(保育・育児(気になる子、障害児保育等))	学童期C(特別支援教育)	学童期D(その他の学校問題(虐待、いじめ、親支援、地域連携、機関連携等))	思春期・青年期E(就労を含めた社会的自立)、	思春期・青年期F(不適応への対応)	成人G(加齢の問題)
K式の心理臨床ー子どもの発達に出会うこと	実践交流型研修における保育支援の力量形成；視点多様性から導かれる実践の地とは	ペアレント・トレーニング	自閉症児における初期社会性発達のアセスメントと支援プログラム	広域地域における発達支援	学習や運動の基礎となる視機能
事例報告交流会：親への支援1	事例報告交流会：親への支援2	事例報告交流会：自己理解	事例報告交流会：コミュニケーション	事例報告交流会特別支援教育	
実践研究論文の書き方ワークショップ	震災後の心のケアー子ども支援のための大人たちへの支援	園を生活の場ととらえる巡回発達相談	高機能発達障害の人たちへのライフサイクルを通じた支援のあり方	特別支援学校高等部の軽度知的発達障害性とキャリア教育の課題	感覚統合の視点から見た子どもの発達と保育・教育現場での臨床
21世紀における就学前の育児・保育・教育をつなぐシステム	国家資格「心理師(仮称)」検討の動向	災害と危機支援	実践研究論文の書き方ワークショップ	茨城災害状況調査のプロジェクト	静岡発！ 地域支援システム構築のために
実践研究論文の書き方ワークショップ 単一事例デザインを用いた方法	自閉症スペクトラム成人へのアセスメントと支援の最前線	「語り継ぐ力」東日本大震災3年目の今、我々が出来ること	自閉症児への発達論的アプローチ・OSとしてのSCERTS・TEACCH、アプリとしてのPECSなど		中学校期における自己効力感の育成を通じた社会性指導
東日本大震災とその後の心の支援を振り返る	発達に課題のある大学生への支援	実践研究論文の書き方ワークショップ	赤ちゃんの暮らしと育ちを応援する心理職		
高等教育における発達障害学生の支援	支援を豊かにする倫理的視点VI	東京都における特別支援教育に関する施策と東京支部における取り組み	発達障害成人支援に役立つアセスメントと臨床応用への期待	東日本大震災とその後の心の支援を振り返る2	「障害」をどのように捉え、関わるのかーICFの視点
臨床発達心理士の職域の可能性に向けてー司法領域	実践研究論文の書き方ワークショップ	大災害後に被災地の子どもに求められる心の支援	支援を豊かにする倫理的視点VII	高等学校における発達障害生徒に対するインクルーシブ教育	発達支援における他職種連携協
自閉症の発達論的アプローチ その2、ESDMを取り入れた早期療育	K-ABC IIの理論と解釈および支援の展開	アセスメント結果をどのようにに保護者や学校に伝えるのか？	臨床発達心理士としての組織的な災害支援のあり方	児童心理治療施設と名称変更された旧情緒障害児短期治療施設"かなで"における取り組み	東京都の特別支援教室事業に関する調査報告
障害者(成人)支援事業所での心理職の必要性を問う	臨床発達心理士としての組織的な災害支援のあり方②	実践論文の書き方ワークショップ	発達支援における他職種連携協働の可能性3		
臨床発達心理士の起業の可能性を考える	地方で自然災害が発生した際の対応と心理支援の困難さについて	スーパービジョンが紡ぐ臨床発達心理士の発達	質的データによる実践論文の書き方・まとめ方	発達支援における他職種連携協働の可能性4	
コロナ禍における発達支援の現状と課題	発達支援・親支援プログラムをオンラインで行なうことの可能性	親と子どもたちに寄り添う「地域子育て支援教室」の実践	臨床発達心理士としての成長過程	臨床発達心理士に求められる倫理	発達支援における他職種連携協働の可能性5
実践論文の書き方講習会	オンラインによるペアレントプログラムの社会的実装	臨床発達心理士に求められる倫理	科学者ー実践家は発達支援をどう進めるか	発達支援における他職種連携協働の可能性6	コロナ時代に臨床発達心理士が出来ることを考える
実践研究の書き方講座 高機能発達障害の青年・成人への支援	保護者と家庭を支援する方法と実践	心理職に求められる実践スキルとその課題を模索する	発達支援における多職種連携協働の可能性7		
論文の書き方	災害支援	子どもと思春期・青年期の発達支援に向けたトラウマ・インフォームドケアと危機支援	研修委員会	テーマ別危機支援	発達支援における多職種連携協働の可能性8
新版K式発達検査2020	重度重複障害のある子の水泳指導	きょうだい児支援に関して	学齢期の子どもの学習支援	外国に繋がる児童生徒の発達支援	臨床発達心理士とジェンダー・セクシャリティの問題

情報交換会				実践研究 発表	実践報告交流	支部交流会
				55		、、
				39	15	
				42		、、、、、、
				27		
				21		
障害児者と高齢者のためのレクリエーション・リハビリ	「気になる子どもの虹の架け橋・地域支援事業」～臨床発達心理士の出番・役割・使命			16	12	
高齢期のサクセスフルエイジング	乳幼児検診と家族支援	臨床現場へのWISC-IVの適用に向けて	発達障害児への包括的支援	23		
鍼灸支援の現状と課題	機能の高いASDのある人のソーシャルストーリーズとコミック会話の実践的応用			26		
発達や育ち、臨床とは何かー子どもの生活世界から考える	発達障害といじめの対応プログラム			19		
				18		支部活動交流会(パネル展示)
				18		支部活動交流会(パネル展示)
コミュニケーション障害におけるマカトン法の活用について	通常の学級において特別な教育的配慮が求められる子どもを支えるための関係性を築く取り組み			21		支部活動交流会(パネル展示)
他職種連携の可能性ー対象者の視点から見たチーム支援とは	発達支援における多職種連携協働の可能性2	場面緘黙児を理解するためのアセスメントの視点		18		支部活動交流会(パネル展示)
				12		支部活動交流会(パネル展示)
				12		支部活動交流会(パネル展示)
				10		支部活動交流会
				11		
				6		支部活動セミナー「臨床発達心理士の強みを支部の独自活動から学び考える」
				15(見込み)		
自閉症スペクトラム						

企業出店	企業広告	挨拶で述べられた会員数
「やさしい資格案内」の販売		1200
「シリーズ臨床発達心理学」「やさしい資格案内」の販売		1500
出版社による販売 実践研究誌バックナンバー、大会論文集、資格申請ガイドの販売		1800
出版社による販売 実践研究誌バックナンバー、大会論文集、資格申請ガイドの販売		2000
出版社による販売 実践研究誌バックナンバー、大会論文集、資格申請ガイドの販売		2300
出版社による販売		2600
出版社による販売7社		
出版社による販売10社		3000
出版社による広告・販売21社		3200
出版社による販売6社	10社	
出版社による広告・販売12社		
出版社による広告・販売13社		
出版社による広告・販売14社		
出版社による広告・販売13社		
出版社による広告・販売12社		
	7社	
	7社	
	4社	